

令和五年度 施政方針

令和五年度を迎えるに当たり、今後の市政運営について、私の考えを御説明申し上げます。

昨年、市長として二期目の重責を担わせていただくこととなり、市政をお預かりして四年八箇月が経過いたしました。

昨年六月の市議会定例会の所信表明で申し上げましたとおり、第五次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」を確実に進めるため、職員とともに一丸となって取り組んでおり、不退転の覚悟をもって、やり遂げるという気持ちは、今も変わりません。

市長就任当時、建設場所が最大の懸案事項でありました新庁舎につきましては、市議会の御理解の下、早期に方向性を決定できたこともあり、今年、いよいよ、その姿を現してまいります。

また、防府駅周辺のまちづくりについては、市道栄町藤本町線の一部開通、旧商工会館跡地を含む駅北における民間事業者による開発など、変化が形となって現れております。

県に要望しておりました農林業の知と技の拠点については、即戦力人材の育成、確保をはじめとする農林業の発展に向けた拠点として令和五年四月に供用開始される運びとなっており、県立総合医療センターについては、近隣への全面的な建替えに向け、基本構想の策定等が進められております。

加えて、国道二号の富海拡幅工事、台道拡幅の早期事業化に向けた取組など、総合計画が目指す「明るく豊かで健やかな防府」を実現するためのプロジェクトが力強く

前へ進んでおります。

先月、総務省から発表のありました令和四年住民基本台帳人口移動報告によれば、本市は転入超過数が中四国九県の中で最も多い市となっております。

具体的で、わかりやすい総合計画を基に、市議会議員の皆様や市民の皆様とともに取り組んできたまちづくりが成果となって現れたものと考えております。

皆様の防府の未来に対する期待の表れとも思っておりますので、皆様の御期待に応えられるよう、この歩みをより確実なものにしてまいります。

令和五年度の当初予算『ほうふの未来が「かたち」として見えてくる予算』は、国、県の対策に合わせ、物価高騰等対策や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた十五箇月予算として編成し、総合計画に基づく諸施策を確実に実行することとしております。

この中で、子ども家庭庁を中心に取り組むこととなる子育て支援、デジタル人材の育成をはじめとするデジタル化の推進及び「いま！すぐ！みんなで！節電・ゴミ減・エコ移動」をスローガンに、カーボンニュートラルの推進に、しっかりと取り組んでまいります。

また、これらの取組をより確実なものとするため、機構改革も含めた組織体制の強化にも取り組んでまいります。

さらに、総合計画も三年目を迎えることから、将来を展望した施策の検討を進めるとともに、その財源の備えとなる基金を設置し、適切に運用してまいります。

これらの「明るく豊かで健やかな防府」の実現に向けた取組を、市議会議員の皆様、市民の皆様と一体となって、国、県との連携を密にし、更に加速させてまいりますので、引き続き、皆様の御理解、御協力をお願い申し上げます、施政方針といたします。